

# 彩の歳時記

平成二十六年 十月

秋の彼岸も過ぎ、十月の声を聞くと空気の感触に寒さに向かう気配を感じます。読書の秋 美術の秋・食欲の秋「天高く馬肥ゆる秋」など落ち着いて、物事に向き会える十月。芸術【文学・音楽・絵画・書など】との出逢いは、時に人生を変えざる事もあります。失意・不安・緊張のただ中でも、古今東西の古人達に叱咤激励されながら、前を向いて歩む勇氣と可能性を持ちたいものです。



## 十月の異称

神無月・神去月

日本中の神々が出雲大社に集まり他の神社に神々がいなくなることから。

出雲だけは「神在月」。出雲大社では、五日に故高円宮の次女・典子女王と大社権宮司・千家国麿氏の結婚式が挙行され、縁結びのまち「出雲市」では奉祝事業が盛大に行われる。

## 十月の暦

一日 東京都民の日 「1888年のこの日、東京市が誕生した事に由来。多くの都立の施設などが無料公開されるので、身近のイベント情報を探索してみてください。

一日 衣替え 現在は六月一日と十月一日に官公庁・学校などで行われているが厳密ではない。着物は単(ひとえ)から袷(あわせ)ですが、仕立てだけでなく菊・もみじ・月など

季節ならではの柄で、お洒落を楽しみたいもの。



六日 十三夜・粟名月 日本特有の行事。仲秋の名月(中国伝来の十五夜)と十三夜の月(後の月)の両方を同じ場所で眺めると良いとされる。



八日 寒露【二十四節気】 秋の長雨も終わり、本格的な秋の始まり。秋晴れの日も多く月が輝いて見える。

十日 東京オリンピック開会の日 1964(昭和39)年のこの日、アジア初のオリンピックが東京で開催。

## 十二月

芭蕉忌・時雨忌 松尾芭蕉【1644〜1694】の忌日。後世、俳聖と呼ばれた世界的に知られる



「秋深き隣は何をする人ぞ」は

日本史上最高の俳諧師。人口に膾炙した 九月二十四日、大阪で弟子主催の俳句会に病欠した際に遣わした挨拶句。辞世「旅に病んで夢は枯野を駆け巡る」に続く句である。

十三日 体育の日(国民の休日)(第2月曜日)文部科学省主催の中央記念行事「スポーツ祭り」が開催。

十七日 神嘗祭(かんなめさい) 1974年までは祭日。天皇がその年の新穀(にいこく)を伊勢神宮に奉納する祭。稲作に関わる祭は、現在、皇室によって継承されている。

二十三日 霜降【二十四節気】 秋も深まり朝霜が見られる頃。東北では紅葉も盛りに。

二十七日 文字・活字文化の日 2006年制定の文字活字文化振興法に盛り込まれた記念日。読書週間初日で「言語力」を育てる日。

## 三十一日

### ハロウィン

11月1日の万聖節(ばんせいせつ)キリスト教

すべての聖人の祝日の前夜祭・悪霊を追い払う為にかぼちゃのお化けや魔女などの衣装をする風習が有名に。



風立ちぬ 今は秋 今日から私は心の旅人 高原のテラスで手紙 風のインクでしたためています

## 十月の歌

風立ちぬ

松田聖子 歌

1981年

詞の松本隆【1949〜】は軽井沢の万平ホテルの風の抜けるカフェテラスを

イメージして書いたという。曲の大滝詠一【1948〜2013】にとって、初のシングルヒット曲。作詞依頼時、松本は最愛の妹と死別しており、大滝は彼の詞を無期限で待ったという。明るい歌唱と相まって独特の雰囲気醸し出している。

「風たちぬ、いざ生きめやも」(風が吹いたさあ、何とか生きてみよう)の冒頭が有名な小説「風立ちぬ」の作者・堀辰雄【1904〜1953】は軽井沢をこよなく愛し、晩年を過ごした信濃追分には「堀辰雄文学記念館」。

昨年公開の宮崎駿監督の最後のアニメ「風立ちぬ」もどこか不安な風のざわめきに心をふるい立たせているような不思議な感覚の作品。



風立ちぬ 今は秋 帰りたい帰れない あなたの胸に 風立ちぬ 今は秋 今日から私は心の旅人 後略

SAYONORASAYONARASAYONARA SAYONARA SAYONORASAYONARASAYONARA 振り向けば 色づく草原 一人で生きてゆけそうね 首に巻く赤いバンダナ もう泣くなよと あなたがくれた